

令和 8 年度 第 1 回関市社会教育委員の会・関市公民館運営審議会 会 議 録

1 日 時

開会 令和 8 年 5 月 2 6 日（火曜日） 1 3 時 3 0 分

閉会 令和 8 年 5 月 2 6 日（火曜日） 1 5 時 3 0 分

2 場 所

わかくさ・プラザ 学習情報館 3 階 3 - 2 研修室

3 出席者

委員（11 名）

敬称略

氏名	区分
山田 真樹	関市校長会
清水 宗夫	関市青少年健全育成協議会
蓑島 昌尚	関市スポーツ協会
堀野 慎吉	関市文化協会
太田 尚文	学識経験者
早川 貞子	学識経験者
三島 善伸	板取地域代表
西田 英子	武芸川地域代表
土屋 昭代	武儀地域代表
大坪 博子	武儀地域代表
波多野 清美	上之保地域代表

4 説明のため出席した職員

協働推進部長	遠藤 真理子
生涯学習課長	野田 和江
学校教育課長	西川 正人

5 出席した事務局職員

生涯学習課	林 良広
生涯学習課	三原 麻梨絵

6 欠席者（４名）

敬称略

氏名	区分
藤吉 智志	関市 PTA 連合会
鈴木 幸子	学識経験者
長屋 芳子	洞戸地域代表
鷺見 花実子	武芸川地域代表

7 傍聴者 なし

8 議事日程

1 開会

2 委嘱状交付

3 協働推進部長あいさつ

4 関市社会教育委員の会

- ① 学校と地域の連携について
- ② 令和８年度事業説明
- ③ 令和８年度関市社会教育委員の年間の会議及び研修計画

5 関市公民館運営審議会

- ① 令和８年度公民館事業について

1 開会

(事務局)

＜関市民憲章の唱和＞

＜生涯学習都市宣言の唱和＞

2 委嘱状交付

3 協働推進部長あいさつ

(協働推進部長)

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、関市社会教育委員の会、公民館運営審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。本年度からは、先ほど示しましたように、校長会より1名の新たな委員の方をお願いすることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、関市では、市民が健康でいきいきと学べる生涯学習社会を構築するため、「市民ひとり1学習、1スポーツ、1ボランティア」を提唱し、生涯学習の推進に努めております。学校と地域が一体となり、未来を担う子どもたちを育てていくために、より一層、学校と地域が連携した社会教育活動や地域づくりが求められております。地域に愛着と誇りを持つ子どもたちを育む社会教育活動こそが、将来の活力ある地域づくりに繋がるものと考えております。委員の皆様におかれましては、今までと同様、特段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 関市社会教育委員の会

① 学校と地域の連携について

(学校教育課長) 学校の状況について説明

皆様、こんにちは。本日は少しお時間を頂戴し、学校と地域との連携についてご説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。私はこれまで教員として関市内の学校に勤務してまいりました。具体的には、旭ヶ丘中学校に計8年間、緑ヶ丘中学校に計7年間、下有知小学校に3年間、合計18年間教員を務めております。この経験を踏まえて、ご説明させていただきます。

お手元の資料、下有知小学校独自の学校教育夢プランをご覧ください。下有知小学校と地域の関わりを例に、ご説明させていただきます。関市立の学校にとって、地域との関わりは大変重要であると考えております。地域の皆様からの温かいご支援があるのはもちろん、保護者の皆様にも支えられ、学校が成り立っております。関市教育委員会では「学校教育夢プラン」を策定しており、各学校はこれを基に独自の学校教育夢プランを作成しています。資料左側中央付近にございますオレンジ色の「ふるさと教育の推進」についてですが、関市だけでなく岐阜県としても、ふるさと教育は非常に重視している項目です。その理由としては、若年層が市外へ流出し、戻ってこないという現状がございます。そのため、住んでいる地域

にはこんなに良いところがあると感じ、愛着を持って暮らしてほしい、たとえ一度は地域を離れたとしても、いずれは戻ってきてふるさとを盛り上げてほしいという強い思いがあります。こうした背景から、地域の皆様からの多大なご協力を得て、学校が教育活動を築き上げることができています。これがふるさと教育であり、安全・安心な学校運営において、地域との連携が非常に重要です。

具体的に、特に学校が大変お世話になっているのは、登下校の見守り活動です。地域の方々が積極的にこの活動にご協力くださっています。これら登下校の見守り活動のほか、施設管理、学校運営協議会への参加、大規模なあいさつ運動、クマ目撃情報のある地域での見守りなど、多岐にわたるボランティア活動において、多大なご協力をいただいております。これらの支援により、学校は安心して子どもたちを学ばせることができています。

地域人材の活用としましては、「修徳会」という高齢者の会の協力により、農業体験を実施しています。お米、大根、大豆、里芋など、様々な作物を学校の畑で栽培させていただいております。こうした活動では、地域のおじいちゃんやおばあちゃんが常にお手伝いくださり、子どもたちは本当に楽しそうに参加しています。例えば、大豆を栽培した際には豆腐づくりを行うなど、子どもたちは貴重な経験をさせていただいております。また、専門講師から学ぶ講座もあり、地域の様々な企業や団体から専門家が学校に来てくださり、多岐にわたる分野について教えていただいております。特に有名な例としては、関市内の全小学校で実施している刃物製造会社による「爪切り講座」です。この講座は非常に好評で、今までなかなか学ぶ機会がなかった正しい爪のケアについて、専門家から教えてもらえる貴重な機会です。

さらに、地域には人材だけでなく多様な教育資源があると考えております。それらを活用しながら地域を知る学習は、今後ますます広がっていくことでしょう。小学校 3 年生の社会科では、山王山に登り、地域全体を上空から俯瞰して見ることで、自分の住む街を知るという体験学習が行われています。こうした活動を通じて、地域がこれほどまでに整備されているという思いを子どもたちに抱いてもらいたいと願っております。この活動には見守りの方々もご協力くださっていますが、今年は残念ながらその時期にクマ騒動が発生し、中止となってしまいました。また、市の様々な施設も見学させていただくなど、地域を知る学習の機会を設けています。ふるさと教育を推進していく上で、地域の皆様のご協力は不可欠であり、学校が安全・安心な教育活動を進めていくためには、地域の活動が極めて重要であると考えております。また、下有知小学校独自の取り組みとしては、資料中央部分にあるキャリア教育の推進が挙げられます。「PTA ぎんちゃん広場」という活動があり、これは市内企業にご協力いただき、職業体験を行うもので、これも地域の皆様に支えられている活動です。皆様がお住まいの地域の学校でも、これと同様の活動が行われている場合もあれば、より独自性の高い取り組みもあるかと存じます。あくまで一例ではございますが、地域に支えられている学校教育の具体的な姿として、ご理解いただければ幸いです。

しかしながら、地域の方々も高齢化が進んでおり、コミュニケーションや連携の調整が課題となる場合もございます。特に、学校と地域の代表者間での密なコミュニケーションや調整は、極めて重要です。そのような状況において、学校側も地域団体との連携を密に進めて

いく必要があります。その上で、お互いに無理のない範囲で活動を進めていくことが望ましいと考えております。学校と地域の方々が、お互いに過度な要求をしてしまうと、衝突やトラブルにつながる可能性もあります。そのため、可能な範囲でできることを互いに協力し、良好な関係を築いていくことが重要であると考えております。このような考え方は、学校の教職員に対しても同様に言えることであり、過度な負担とならないよう配慮することが重要です。また、地域の皆様にはご家庭の事情もおありかと思いますので、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。また、学校の授業時間数は限られており、この限られた時間内で、いかに効率的な教育活動を進めていくかが課題でございます。例えば、本日ご紹介した夢プランに沿って活動を進めていくことで、様々な関係者にご協力いただけるとともに、地域の皆様にも活動内容をご理解いただき、学校の取り組みを応援していただけるものと存じます。簡単ではございましたが、私からは、学校と地域が協力して教育活動を推進していくことの重要性についてお話しさせていただきました。

(議長)

ご意見、ご質問等はありませんか。広く皆様のご意見を伺い、本日活動の方向性を決めたいと存じます。

(委員)

学校と地域の方々との協力の大部分において、学校側では教頭先生が窓口となるこのことでした。地域の方々では、団体の長などが窓口となり、連携をすると伺っております。「ぎんちゃん広場」は素晴らしいイベントだと認識しております。これは地域の皆様の協力があってこそ成り立つものであり、このような取り組みこそ他の学校でも、地域との連携を深めることで、よりうまくいくのではないかと感じております。こういったところで、PTAではなく、地域学校協働活動コーディネーターが推進できると期待しており、関係課に働きかけているところです。

(委員)

説明のあった下有知小学校の学校教育夢プランについて確認ですが、教科の授業は従来通り実施されますか。学力向上などの基本を大切にしながら、地域の方々にも協力していただき、子どもたちに力をつけてほしいと思います。

(学校教育課長)

もちろん学校の中で一番重要なのは教科の授業であり、学校教育夢プランにも青い枠で学力向上の部分があります。あわせて、地域を知り、地域を理解していくふるさと教育も重要であると考えています。教科の授業を蔑ろにするわけではありません。

(委員)

学校と地域が結びつくことが社会教育委員としての仕事になっていくのかなと思います。しかし、それはなかなか難しいことです。加えて、地域の高齢化が進んでいる中で地域との関係性をどう構築し、人材を掘り起こし、学校に紹介していくか、そして子どもたちを育てていくかということが、これから重要になってきます。誰がコーディネートするのか、というのも課題です。1年ではできないことですが、人材を増やし、コーディネートの仕方も多様なパターンを作り、今年はこれをやっていこうというようなことを、これから進めていかなければならないと考えております。

(議長)

全国的に学校の規模適正化が進められております。武儀・上之保地域も統合が進んでいますが、地域と学校との協働という観点で、どう捉えていらっしゃるでしょうか。

(委員)

社会教育委員としての私の役割について考えた際、先生方からは学校の詳しい情報が提供されることはなく、市の広報を見て活動について知る程度にとどまっています。各学校の「学校夢プラン」のような具体的な取り組みがどのような状況にあるのか、私自身が実際に見たことも把握したこともありません。私自身「ふれあいクラブ」で子どもたちとの接点はありましたが、学校から地域への直接的な情報発信は不足しており、学校の統合についても耳にするものの、具体的な情報は一切入ってこないのが現状です。このような状況では、子どもの数が減少していることもあり、学校との関わりを持つことがますます難しくなっています。今回、社会教育委員と地域、そして学校の取り組みと連携について初めて詳しく聞き、「なるほど」と深く納得しました。何かもっと良い情報共有や連携の方法はないかと感じています。それぞれが意見を出し合いながら、学校と今後も協力して活動を続けていけるようになればと願いますが、どうなるかは分かりません。現状をどうすれば改善できるのか分からず、ぜひご教示いただきたいです。

(委員)

私は関市文化協会の副会長も務めておりますが、今回話を聞いて感じたのは、社会教育委員の役割が曖昧であるということです。地域と学校を結びつける中で、どこでどう活躍していいのか、どこまで踏み込んでいいのかが分かりません。先ほど言われたように、位置づけがはっきりしていないため、どこで力を発揮できるのか、どう地域に貢献できるのかが不明確です。組織としてしっかりとした立ち位置を確立し、その中で活動できるようになれば良いと思います。

(議長)

ありがとうございます。残念ながら、社会教育委員の認知度が低いのが現状です。本年度学校運営協議会に参加している社会教育委員は2名です。15名中2名では、学校の状況を

把握できていないのも当然でしょう。学校と社会教育委員会の連携には、様々な機会があり、年間を通して行事もたくさんあるため、もっと連携を密にしていく必要があります。個人情報も考慮しつつ、社会教育委員の活動内容をオープンにすることで、学校が「社会教育委員とはこういう方々なのだ」と認識し、連携が深まるでしょう。これは前回も議論された点ですが、広報誌などを活用してもっと周知していくべきだと考えております。具体的には、以下の2点を実行に移したいと思います。

1つ、学校と社会教育委員会の情報共有を促進する。

2つ、社会教育委員の氏名、住所、連絡先を学校、特に小学校と中学校に提供する。

この2点を本日の会議の結論として進めていきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(委員)

社会教育委員が学校へ紹介されても、「何もできない」という方もいらっしゃるかもしれません。社会教育委員の会は、各地域の様々な団体の代表者や、地域委員会の代表など、様々な方が集まって情報交換する場であり、こういったところで情報が共有されることで、学校や地域のイベントに様々な人がお手伝いでき、繋がっていく、そのような仕組みになっているのだと思っています。個人としては色々な活動に参加していましたが、社会教育委員としては何も活動していませんでした。しかし、実際に話を聞いて、自分ができることを提供したいと思いましたが、現状では社会教育委員として学校に呼ばれても、それぞれの団体がそれぞれの特徴を持って活動している中で、一体何をするのかという疑問が拭えません。

(委員)

社会教育委員についてですが、私の場合、地域住民の一人であり、特定の団体の代表者ではありません。そのため、社会教育委員の会が各団体の代表者が集まって議論する場であるという認識に対しては、私たちのような立場の人間がどうすれば良いのかという疑問が生じます。地域と学校が連携して様々な活動を進めたいとは思っているのですが、どうしても人材が不足しており、思うように進められない現状があります。児童生徒数も減少の一途を辿っているため、活動を行おうとしても、人数的に難しいといった問題も出てきています。

(議長)

様々な課題が今回の会議で明確になりました。やはり、スポーツ協会や文化協会が存在するからこそ、そちらへ指導や支援を求める、あるいはそちらから様々な提案を聞き、それに対応していくという話で終わってしまっています。非常に難しい問題であり、どのように進めていくべきか、皆で模索しながら取り組んでいく必要があります。まずは、私たち社会教育委員の情報を広く知っていただくこと、つまり認知度を向上させることが非常に重要だと考えています。このような課題を皆で共有し、できることをやっていきましょう。ご意見ありがとうございます。

(事務局)

ありがとうございます。学校運営協議会に参加している委員は2名と少なく、学校に社会教育委員の情報をお伝えしても、社会教育委員について知られていないのが現状です。社会教育委員とはこういう方々でこのようなメンバーがいるということを、学校の校長先生方に周知するというのが、議長がまとめられた内容でしたので、そのように進めていきたいと考えております。広報については、学校教育課長とも相談しながら、周知していきたいと思っております。

② 令和8年度事業説明

(議長)

令和8年度事業について説明をお願いします。

(事務局)

本日は時間の都合上、各課の社会教育に関わる事業説明については資料提供という形にさせていただきます。内容についてご意見やご質問等ございましたら、生涯学習課もしくは担当課にお問い合わせ頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

(議長)

11月下旬に開催していた「いきいきフェスタ」ですが、今年度は9月20日開催でしょうか。

(事務局)

「いきいきフェスタ」については、学習情報館が消防設備の工事のため、10月から休館をさせていただきますので、少し前倒しで開催いたします。

③ 令和8年度関市社会教育委員の年間の会議及び研修計画

(議長)

令和8年度関市社会教育委員の年間の会議及び研修計画について説明をお願いします。

(事務局)

<資料2に基づいて説明>

(議長)

東海北陸社会教育研究大会の参加者を2名決定します。委員の皆様の積極的な参加をお願いします。

(第57回東海北陸社会教育研究大会参加者 → 清水委員と三島委員に決定)

(議長)

これで社会教育委員の会を閉じます。

5 関市公民館運営審議会

① 令和8年度公民館事業について

(議長)

公民館運営審議会に移ります。令和8年度公民館事業について説明をお願いします。

(事務局)

<資料 P.1・7に基づき説明>

(議長)

ご意見・ご質問はございますか。

(委員)

意見・質問等なし

(議長)

これで公民館運営審議会を閉じます。

(生涯学習課長)

本日は多くの意見をいただき、ありがとうございます。社会教育委員の会につきましては、前年度3月の会議の際に、皆様からご提案された内容について審議いただき、その結果を学校教育課とも共有しながら実施してまいります。またその内容については皆様にご報告させていただきます。また、公民館運営については、消防設備の改修のため下半期10月から、中央公民館を含め、学習情報館を一時休館させていただくことに伴い、講座やイベント等例年とは違う公民館の運営になることもありますが、こちらにつきましてもできるだけの努力をしながら進めてまいりまして、皆様に実施状況の報告をさせていただきます。ありがとうございました。

午後15時30分閉会